

発行日：2004年6月28日（ほぼ月刊）
発行：中野区区長室基本構想担当
〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1
電話03-3228-5572

☆メールマガジンや基本構想改定に関するご意見・ご連絡は下記アドレスへ
seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp
☆メールマガジンのバックナンバーをご覧になりたい方はこちらへ
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/magagine.html>
☆現在の中野区基本構想（昭和56年制定）をご覧になりたい方はこちらへ
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kg028.html>

■もくじ

- ◇「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 2）概要
 - ◇「区民と区長の対話集会・意見交換会」等について
 - ◇【答申で描く「ものさし」シリーズ】第3回 支えあい安心して暮らせるまち
 - ◇ 編集後記
-

■「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 2）概要

前回、区職員のプロジェクトチームがまとめた提案書、区民ワークショップ提案書及びこれらをもとに審議され、4月7日に中野区長に提出された基本構想審議会答申を受けて、区が検討してまとめた「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 1）の概要をお示ししました。

この内容について、さらにに検討を加え、「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 2）をまとめ、ご意見を伺っているとこです。NO. 1との主な相違点は次のとおりです。

1. 中野のまちの将来像についての一部修正、追加
 - 持続可能な活力あるまちづくり
住宅に関する加筆
 - 自立してともに成長する人づくり
子育てに関する一部修正、生活に関する加筆
 - 支えあい安心して暮らせるまち
各表題（1, 2, 3）の修正
2. 10年後に実現するまちの姿の一部修正、追加
 - 持続可能な活力あるまちづくり
世代間交流に関する記述の一部修正、住宅に関する加筆、緑に関する修正など
 - 自立してともに成長する人づくり
子育てに関する一部修正
 - 区民が発想し区民が選択する新しい自治
協働に関する記述の一部修正
3. 将来像及び10年後に実現するまちの姿に対応した「想定される取り組み例」を記載
 - 持続可能な活力あるまちづくり
中野駅周辺地区のまちづくり推進、産業情報のデータベース化による情報提供、古紙の集団回収の推進、北部防災公園をはじめとした公園の整備など
 - 自立してともに成長する人づくり
中高生対応型施設の設置・運営、図書館と学校図書館の連携、地域スポーツ・健康づくり施設による部活動など
 - 支えあい安心して暮らせるまち
（仮）高齢者いきいき会館を利用した高齢者の健康づくり、江古田の森保健福祉施設整備、権利擁護センターなど
 - 区民が発想し区民が選択する新しい自治
地域団体等により運営される（仮）区民活動センターの設置、NPO提案型の児童館運営、電子申請システム利用の拡大など

4. 施設配置の基本方針案の一部修正、追加

将来必要な機能の分野別分類、新たな施設展開の具体化などを追加

☆基本構想の構成案と施設配置の基本方針案の全文は、検討素材NO. 1、NO. 2ともに中野区ホームページ上のPDFファイルでご覧いただけます。NO. 3も作成次第アップします（7月中旬予定）。

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/kihonkousou2003.html>

■区民と区長の対話集会・意見交換会等について

□5月に実施した「区民と区長の対話集会・意見交換会」及び町会、青少年育成団体等の各種団体との意見交換において、検討素材NO. 2に対し次のようなご意見（主要な意見を抜粋）をいただきました。

【全般及び全文】

- ・10年後の中野をイメージをどのように描くのか。
- ・物差し（指標）が入れていないのはなぜか。
- ・区民が共有する理念がなぜ区民憲章なのかかわからない。
- ・10年後の姿を実現したときの財政状況はどうなっているのか。

【持続可能な活力あるまちづくりの章】

- ・産業支援についてももう少し書き込んでほしい。
- ・中野区は都市計画上の地域格差がひどい。個別ではなく、全体としての計画を進めてほしい。
- ・環境について資源回収等に民間の力を生かすなど具体的な取り組みを。
- ・商店街振興について具体的に書いてほしい。
- ・狭あい道路の整備と電線の地中化を進めてほしい。
- ・区内の交通ネットワークにミニバスを活用してほしい。
- ・学校の統廃合にあたっては避難所のことも考えてほしい。
- ・警察大学校跡地については、自然保護を十分考えた都市計画をしてほしい。
- ・温暖化対策に道路の木片利用を進めたらどうか。
- ・人の集まるところには駐輪場の設置を義務付けるべき。

【自立してともに成長する人づくりの章】

- ・児童館を学校に入れることで、子どもの居場所が学校しかなくなってしまうのはいかがなものか。
- ・学童クラブを学校に入れてしまうと、いろいろな制約が生まれるのではないかな。
- ・障害児を地域の学校に入れていくという方向にあると思うが、統廃合するとできなくなるのではないかな。
- ・子どもの居場所が乳幼児は総合公共サービスセンター、児童は学校、中高生は新しい児童館だとすると、世代間交流ができなくなってしまう。
- ・地域図書館は、今後も残してほしい。
- ・学校の再編で通学区域が広がるのが子どもにとってどうなのか。
- ・図書館と学校図書館の連携は授業等に影響はないか。

【支えあい安心して暮らせるまちの章】

- ・特別養護老人ホームを整備してほしい。
- ・病院から出なければいけない高齢者を受け入れる施設やホスピス等を整備してほしい。
- ・元気高齢者を増やすことに力点をおいた取り組みを積極的に進めてほしい。
- ・高齢者の痴呆対策についても検討してほしい。

【区民が発想し区民が選択する自治の章】

- ・自己責任、自己決定は、誤解を受けやすい言葉なので、丁寧に説明したほうがいい。
- ・住区協議会についても触れてほしい。
- ・循環できる人口構成にするには、中野に長く住む人を中心としたコミュニティが必要である旨の記述を基本構想にいれてほしい。
- ・区の窓口業務を民間に委ねてみてはどうか。
- ・住基カードの今後のサービスメニューはどう拡大するのか。

【施設配置の基本方針案に関して】

- ・学校の再編について、伝統とか土地柄についても配慮してほしい。
- ・使わなくなった施設は売却するのではなく、地元のために使ってほしい。
- ・ゼロベースで見直すのではなく、今ある施設を基礎にするべきではないか。
- ・学ぶ場と遊ぶ場がともに学校というのは馴染まないのではないかな。
- ・総合公共サービスセンターは、区内にバランスよく配置されるべき。
- ・特徴ある児童館はどの程度つくるのか。
- ・学校再編後の校名はまったく新しいものにするのではなく、統合前の名前を生

かしてほしい。

《参考》

- ★5月に開催した「区民と区長の対話集会・意見交換会」
開催回数6回（うち1回は区民ワークショップを対象）、参加人数 延173人
 - ・平成16年5月20日午後7時～9時＝鷺宮地域センター
 - ・平成16年5月21日午後2時～4時＝新井地域センター
 - ・平成16年5月22日午前10時～正午＝区役所7階会議室
 - ・平成16年5月23日午後2時～4時＝区役所7階会議室（区民ワークショップ対象）
 - ・平成16年5月24日午後7時～9時＝南中野地域センター
 - ・平成16年5月25日午後7時～9時＝東部地域センター

今回、みなさんからいただいたご意見等を参考にして、「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 3）を作成し、7月中旬に「意見交換会」を下記のとおり開催する予定です。

今後も区民の方々のご意見・ご提案をいただきながら内容を更新し、9月までに素案としてまとめ、区報等にて公表します。公表後、改めて区民のみなさんへの説明会を実施し、区案を作成して、11月の中野区議会第4回定例会で提案する予定です。

□7月の「基本構想等意見交換会」開催予定 全16回

- ★7月15日(木)午後7時から午後9時＝江古田地域センター
- ★7月16日(金)午後7時から午後9時＝鷺宮地域センター
- ★7月17日(土)午後2時から午後4時＝商工会館
- ★7月21日(水)午後2時から午後4時＝野方地域センター
- ★7月21日(水)午後7時から午後9時＝東中野地域センター
- ★7月22日(木)午後2時から午後4時＝上鷺宮地域センター
- ★7月22日(木)午後7時から午後9時＝南中野地域センター
- ★7月23日(金)午後2時から午後4時＝大和地域センター
- ★7月23日(金)午後7時から午後9時＝東部地域センター
- ★7月26日(月)午後7時から午後9時＝鍋横地域センター
- ★7月27日(火)午後2時から午後4時＝桃園地域センター
- ★7月27日(火)午後7時から午後9時＝新井地域センター
- ★7月28日(水)午後2時から午後4時＝弥生地域センター
- ★7月28日(水)午後7時から午後9時＝沼袋地域センター
- ★7月29日(木)午後7時から午後9時＝昭和地域センター
- ★7月30日(金)午後7時から午後9時＝上高田地域センター

☆「基本構想等意見交換会」の詳細はこちらへ（6月30日以降ホームページにアップする予定です）

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/kihonkousou2003.html>

■【答申で描く「ものさし」シリーズ】第3回 自立してともに成長する人づくり

答申の中では、将来像の実現度合いを示すさまざまなものさしを設定していますが、今号では、4つの領域のうち、「支えあい安心して暮らせるまち」の達成度を示す「ものさし」をご紹介します。

「支えあい安心して暮らせるまち」では、次の5つを設定しています。

★ものさし①「この1年間で地域活動やボランティア活動に参加した区民の割合」
区民の主体的な地域活動によって、あらゆる人々が支えあいながらともに住み続けるまちの姿を示すものさしになります。

現在は成人区民の14.1%（平成15年度）が参加していますが、10年後には、30%程度の参加をめざします。

★ものさし②「生活上の悩みや不安を相談できる相手（人または機関）がある区民の割合」

自助・共助・公助の最適な組み合わせによって、あらゆる人々が支えあいながらともに住み続けるまちの姿を示すものさしになります。

現在は88.3%（平成15年度）の成人区民が「ある」と答えていますが、10年後は90%とさらに増加をめざします。

★ものさし③「『健康である』と思う成人区民の割合」

区民一人ひとりが健康の大切さを自覚し、身近な医療や健康づくりの場を活用しながら、心身の健康や機能の維持に努めているまちの姿を示すものさしになります。

平成14年度は53.9%でしたが、10年後は60%以上が健康であると思える状態をめざします。

★ものさし④「65歳区民の平均自立期間（＝健康余命）」

高齢になっても、元気で自分らしい日常生活を続けている人が多く見られるまちの姿を示すものさしになります。

平成13年度は男性15.3年、女性17.2年でしたが、10年後は男性16.3年、女性19.4年とさらなる長寿をめざします。

★ものさし⑤「区内の道路や公共施設で、段差や障害物などによって歩きにくさを（ときどき）感じたことがある区民の割合」

まちの中や自宅で段差や障害物などが減り、ユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる姿を示すものさしになります。

現在は59.4%の成人区民が歩きにくさを感じていますが、10年後には40%程度に減少していることをめざします。

■編集後記

雨にも映える紫陽花が美しい時期になりました。

紫陽花が青白色から紫色そして淡紅色と変わっていくように「新しい基本構想」も、皆様のご意見やご提案などをいただきながら、「検討素材」を更新して素案づくりを進めていきます。

区民ワークショップ、審議会という土壌があります。水や肥料を適量あげて「新しい基本構想」という花を一緒に育てていきましょう(^.^)v

※アドレスの変更、配信中止のご連絡も下記アドレスへどうぞ。

seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

「10年後の中野を描くメールマガジンナンバー」メインページへは「戻る」キーにてお戻りください。